

郡山（福島県）

伝説にちなんだ手拭い作製

恒例「うねめまつり」で販売、文化伝える

郡山商工会議所女性会は、郡山市に伝わる「采女伝説」にちなんだ手拭いを千枚作製し、8月2日から4日まで市内で開催された「第54回郡山うねめまつり」で販売した。手拭いは、郡山市の歴史や文化を多くの人に知ってもらおうと作製したものだ。采女とは、奈良

村に残した恋人を亡くして後を追いつ池に入水する悲しい物語が言い伝えられている。1965年から続くうねめまつりは、安積郡9カ町村が郡山市と合併した際、市民が一体となれるようにとこの采女伝説を主題にして始まった。

時代に朝廷で帝に仕えた女官のこと。同市では、その昔安積（現同市安積地区）を訪れた帝に気に入られ、年貢の軽減と引き換えに采女として奈良の都へ上った春姫が、

手拭いには地元画家・書家による春姫の絵と、帝が安積を訪れた際に春姫が詠んだという和歌が描かれている。今回のうねめまつりでは女性会メンバーらがそろいの浴衣にこの手拭いを着用して手拭いを販売したほか、同所主催「ゆかたdeうねめコンテスト」参加者へ参加賞として贈呈、また、延べ40団体が大通りを踊り歩く「踊り流し」に参加し華やかな踊りを披露した。



▲そろいの浴衣と手拭い姿で踊り流しに参加する女性会メンバーら



▲手拭いには春姫の絵と和歌「安積山の歌」が描かれている

岐阜

全商女性連・藤沢会長の講演会開催

女性会の役割の大切さ語る

岐阜商工会議所女性会は7月10日、同所にて7月例会を開催し、講師に全国商工会議所女性会連合会の藤沢薫会長を招いて「日本を元気にするのは女性！」をテーマに講演会を行った。同講演会は、安倍政権が、「女性が輝く社会」の実現を成長の柱に掲げ、女性の活躍推進に強いスポットライトが当たる中、女性会の活動をさらに強化していくことを目的に開催したものだ。

当日は、同女性会会員および県下商工会議所女性会役員など計37人が参加。地方での講演はこれが



▲参加者らは、地方初という貴重な講演に聞き入った



▲熱心に語る藤沢会長

初めてという藤沢会長は、経営者としての理念や経験などこれまでの足跡とともに、女性リーダーとして世界を視野に入れた活動を推進することと地域のコミュニティーを盛り上げる取り組みを両輪と捉えて積極的に取り組んでいくことの大切さを熱心に語った。

また、自ら会長を務める東京商工会議所女性会について、「人言えない女性経営者の悩みを言い合う場。よい会に出合うことができたと述べた。

同女性会は、「講演を聞き、参加者一同、女性会の役割の大切さや地方創生実現に向け大きな期待が寄せられていることを再認識した。さらなる飛躍を誓い合う最良の機会となった」と話している。